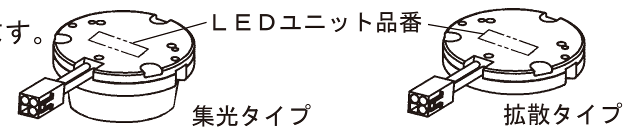
ＬＥＤユニットの交換について

光源に不具合が発生しても、ＬＥＤユニットだけを交換できます

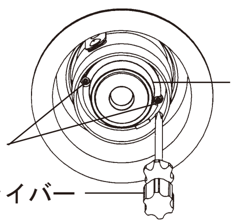
●ＬＥＤユニットの品番は、ＬＥＤユニットの背面に表示しています。
●交換用のＬＥＤユニットは、販売店、工事店にご依頼ください。



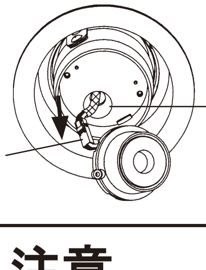
交換方法 注）交換作業前に、必ず電源を切ってください。

1 ＬＥＤユニットを取り外す

①プラスドライバーでＬＥＤユニットを
固定しているネジ（２本）を外す。



②貫通穴からコネクタを引き出す。

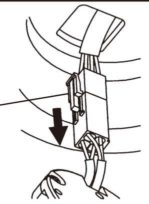


⚠注意

器具配線やコネクタを過度な力で引っ張らない
禁止　充電部露出による感電の原因となることがあります。

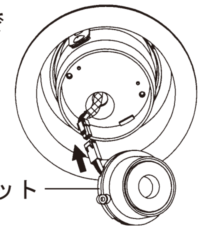
2 コネクタの接続を解除する

・コネクタのロック部を押さえながら
接続を解除する。



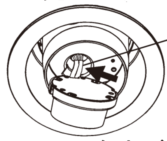
3 交換用ＬＥＤユニットを接続する

①コネクタを”カチッ”と音がするまで
差し込む。

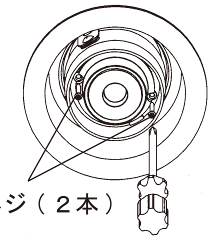


4 交換用ＬＥＤユニットを取り付ける

①コネクタとリード線を貫通穴に
つけ根まで完全に入れる。



②ＬＥＤユニットをネジ（２本）で
しっかりと固定する。



ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】
●ＬＥＤや電源のバラツキにより、商品ごとに明るさや光色が異なる場合があります。（特に調光下限）
●調光点灯時に電源を入切した場合、一瞬フル点灯する場合があります。
●ＬＥＤが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

【 周 囲 の 影 響 】
●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、
定期的（６ヵ月に１回程度）に清掃してください。
●汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、
乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認 シンナー、ベンジンなどの
揮発性のものでふいたり、
殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

仕 様

品番は器具のラベルをご参照ください

品番	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	ＬＥＤユニット
LGB72224LV1	AC100V	50/60Hz 共用	8.0W	0.09A	拡散タイプ
LGB72273LV1					集光タイプ

●ＬＥＤ照明器具の光源寿命は、40,000 時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の 70%に下がるまでの
総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

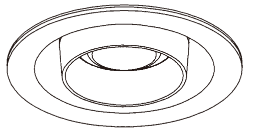
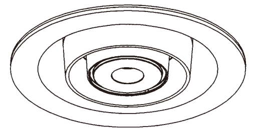
パナソニック株式会社　ライティング機器ビジネスユニット
〒 571-8686 大阪府門真市門真 1048
© Panasonic Corporation 2013
LGB72224LV1-T3A1
N0413-011213

Panasonic®

取扱説明書

保管用
施工説明付き

住宅用照明器具（ダウンライト）

品番　LGB72224LV1 　LGB72273LV1 

お客様へ　このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。（下記は図記号の一例です。）

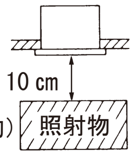
🚫	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

必ず守る

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店
または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

**●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具
などの可燃物が近づかないように注意する**
守らないと、照射物の変色、
火災のおそれがあります。



分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれが
あります。

禁止

●アルカリ系洗剤は使用しない
強度低下により破損し、落下するおそれが
あります。

⚠注意

必ず守る

**●照明器具には寿命があります。
設置して 10 年経つと、外観に異常が
なくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。**
点検せずに長期間使い続けると
まれに火災、感電、落下などに
至る場合があります。
◎１年に１回は別紙安全チェックシート
に基づき自主点検してください。

●お手入れの際は電源を切る
通電状態で行うと、感電の原因となる
ことがあります。

**●器具の取り外しは販売店、工事店に
依頼する**
器具の取り外しには資格が必要です。

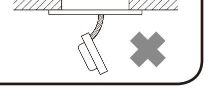
禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●ＬＥＤを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

**●器具配線やコネクタを過度な力で
引っ張らない**
充電部露出による感電の原因となることが
あります。

**●ＬＥＤユニットがぶら下がった状態で
使用しない**
充電部露出による感電の原因
となることがあります。



工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。

施工説明

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠警告

■天井

禁止

●次のような場所には取り付けない
火災、落下によるけが、天井材破損のおそれがあります。

- 強度のない薄い天井面
- ロックウールなどのやわらかい天井面
- 傾斜角 30 度を超える天井面

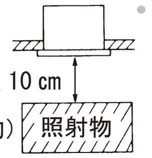
◎この器具は天井面埋め込み専用です。
◎石こうボード（９mm以上）に取り付けできます。

●特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には取り付けない
過熱して火災のおそれがあります。

日本照明工業会ＳＢ・ＳＧＩ・ＳＧ形適合品
マット敷工法　ブローイング工法

必ず守る

●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける
守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。



■壁スイッチ

必ず守る

●調光器は当社製適合ライトコントロールを使用する
指定以外のライトコントロールと組み合わせて使用すると、火災のおそれがあります。
◎ライトコントロールの注意事項については
ライトコントロールの説明書をご確認ください。
当社製適合ライトコントロール
・ライトコントロール（起動方式ＬＶ対応用）

■その他

必ず守る

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う
取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

●交流 100 ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

禁止

●屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に接触させない
火災のおそれがあります。

⚠注意

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

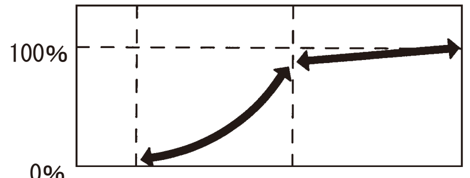
禁止

●温度の高くなるものの上に取り付けない
火災の原因となることがあります。
◎レンジなど温度の高くなるものの上に取り付けないでください。

施工前のご注意　安全のため、電源を切ってから行ってください

●雑音障害を起こす場合がありますので、照明器具以外の機器を同一電源に接続しないでください。
●シンクロ調色について
起動方式ＬＶ対応の当社ライトコントロールと組み合わせて昼白色～電球色調色および 100%～ 0%調光ができます。
●ライトコントロール・信号線式（ＬＥＤ・インバータ蛍光灯用）と組み合わせて使用する場合、ＰＣ／Ｈｆ切替スイッチはＰＣ側に設定してください。

調光・調色特性

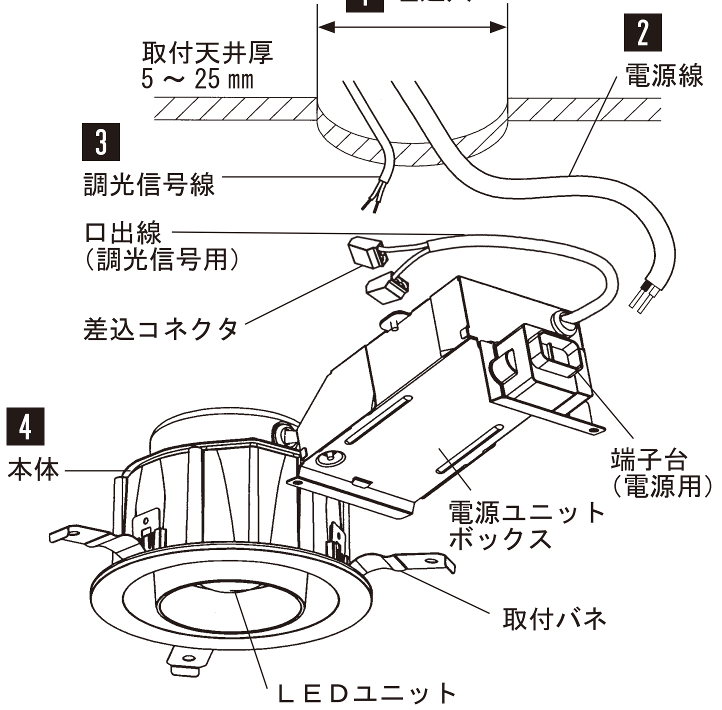


各部のなまえと取り付けかた　安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け前のご注意

・ほたるスイッチと接続する場合は器具１台につきスイッチ３個まででご使用ください。（４個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。）

・表面に１mm以上の凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれるおそれがありますので、平面に仕上げてください。



1 天井に埋込穴をあける

・天井の厚さにより、下記寸法の埋込穴をあける。

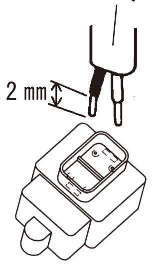
天井の厚さ	埋込穴寸法
5 mm以上　9 mm未満	φ 125 ± 1 mm
9 mm以上　25 mm以下	φ 125 $^{+3}_{-0}$ mm

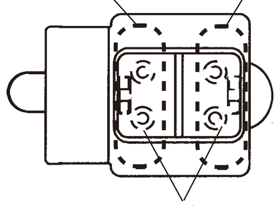
※指定寸法でない場合、すき間があきます。
精度よく穴をあけるために、
ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

2 端子台に電源線を接続する

・端子台に電源線を確実に差し込む。
・送り総容量は4A以下です。
・ＬＥＤ器具を送り配線する場合は、ライトコントロールの最大負荷容量かつ接続可能台数まででご使用ください。

適合電線：φ 1.6、φ 2.0 単線
ＶＶＦケーブル

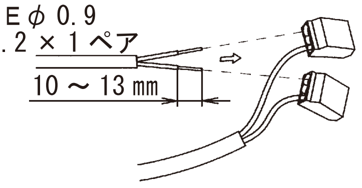




器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等で解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。

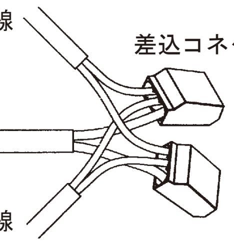
3 調光信号線を口出線の差込コネクタに接続する

・差込コネクタの挿入穴に、調光信号線を確実に差し込む。極性はありません。
適合電線：ＥＭ－ＣＰＥＥφ 0.9
またはφ 1.2 × 1 ペア



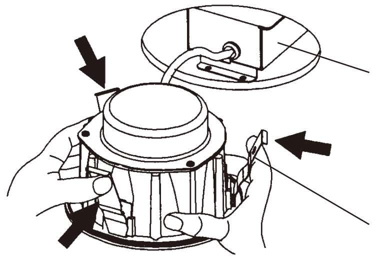
・接続部には別途ジョイントボックスなどを設けてください。

調光信号線を送り配線する場合



4 本体を埋込穴に入れる

①電源ユニットボックスを埋込穴に入れる。
②取付バネ３本を押さえながら、本体を埋込穴に押し込む。

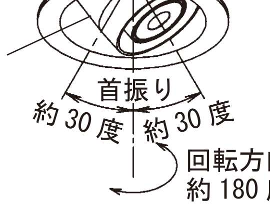


⚠警告　必ず守る　**押し込みが不十分な場合、ガタツキおよび器具落下の原因となります。**

●石こうボードに取り付けた器具を取り外す場合は、枠部をゆっくり引き下げて取付バネ（３本）を押し曲げながら取り外してください。
取り外しに不備があると、天井材破損の原因となることがあります。

5 セードを操作し照射方向を調整する

可動範囲



工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。

施工説明

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠警告

■天井

禁止

●次のような場所には取り付けない
火災、落下によるけが、天井材破損のおそれがあります。

- 強度のない薄い天井面
- ロックウールなどのやわらかい天井面
- 傾斜角 30 度を超える天井面

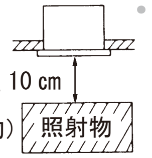
◎この器具は天井面埋め込み専用です。
◎石こうボード（９mm以上）に取り付けできます。

●特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には取り付けない
過熱して火災のおそれがあります。

日本照明工業会ＳＢ・ＳＧＩ・ＳG形適合品
マット敷工法　ブローイング工法

必ず守る

●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける
守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。



■壁スイッチ

必ず守る

●調光器は当社製適合ライトコントロールを使用する
指定以外のライトコントロールと組み合わせて使用すると、火災のおそれがあります。
◎ライトコントロールの注意事項については
ライトコントロールの説明書をご確認ください。
当社製適合ライトコントロール
・ライトコントロール（起動方式ＬＶ対応用）

■その他

必ず守る

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う
取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

●交流 100 ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

禁止

●屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に接触させない
火災のおそれがあります。

⚠注意

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

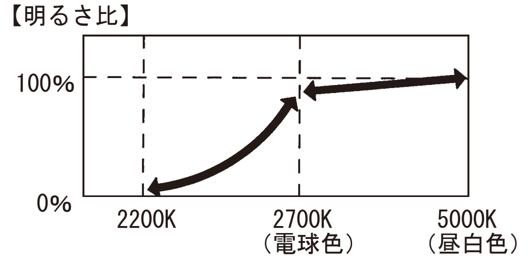
禁止

●温度の高くなるものの上に取り付けない
火災の原因となることがあります。
◎レンジなど温度の高くなるものの上に取り付けないでください。

施工前のご注意　安全のため、電源を切ってから行ってください

●雑音障害を起こす場合がありますので、照明器具以外の機器を同一電源に接続しないでください。
●シンクロ調色について
起動方式ＬＶ対応の当社ライトコントロールと組み合わせて昼白色～電球色調色および 100%～ 0%調光ができます。
●ライトコントロール・信号線式（ＬＥＤ・インバータ蛍光灯用）と組み合わせて使用する場合、ＰＣ／Ｈｆ切替スイッチはＰＣ側に設定してください。

調光・調色特性

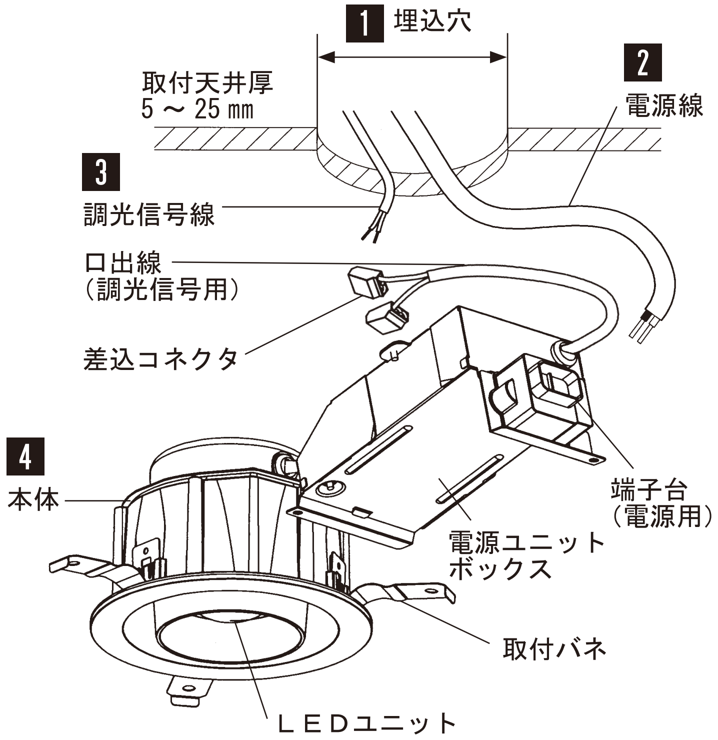


各部のなまえと取り付けかた　安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け前のご注意

・ほたるスイッチと接続する場合は器具１台につきスイッチ３個まででご使用ください。
（４個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。）

・表面に１mm以上の凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれるおそれがありますので、平面に仕上げてください。



1 天井に埋込穴をあける

・天井の厚さにより、下記寸法の埋込穴をあける。

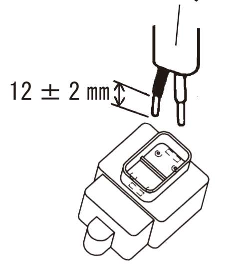
天井の厚さ	埋込穴寸法
5 mm以上　9 mm未満	ϕ 125 ± 1 mm
9 mm以上　25 mm以下	ϕ 125 $^{+3}_{-0}$ mm

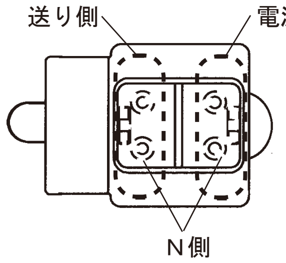
※指定寸法でない場合、すき間があきます。
精度よく穴をあけるために、
ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

2 端子台に電源線を接続する

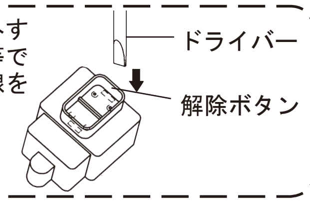
・端子台に電源線を確実に差し込む。
・送り総容量は4A以下です。
・ＬＥＤ器具を送り配線する場合は、ライトコントロールの最大負荷容量かつ接続可能台数まででご使用ください。

適合電線：ϕ 1.6、ϕ 2.0 単線
ＶＶＦケーブル



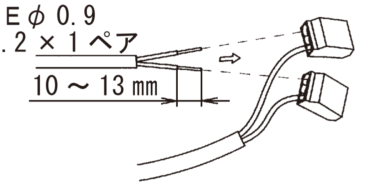


器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等で解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。



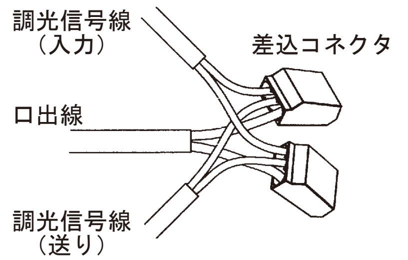
3 調光信号線を口出線の差込コネクタに接続する

・差込コネクタの挿入穴に、調光信号線を確実に差し込む。極性はありません。
適合電線：EM－CPEEϕ 0.9
またはϕ 1.2 × 1 ペア



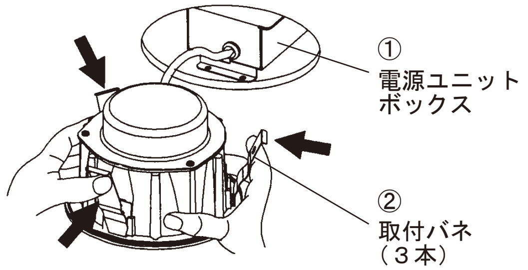
・接続部には別途ジョイントボックスなどを設けてください。

調光信号線を送り配線する場合



4 本体を埋込穴に入れる

①電源ユニットボックスを埋込穴に入れる。
②取付バネ３本を押さえながら、本体を埋込穴に押し込む。

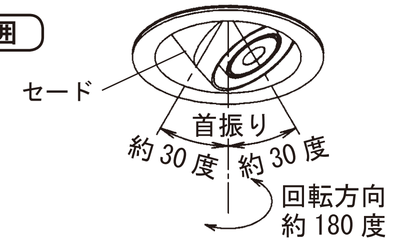


⚠警告　必ず守る　**押し込みが不十分な場合、ガタツキおよび器具落下の原因となります。**

●石こうボードに取り付けた器具を取り外す場合は、枠部をゆっくり引き下げて取付バネ（３本）を押し曲げながら取り外してください。
取り外しに不備があると、天井材破損の原因となることがあります。

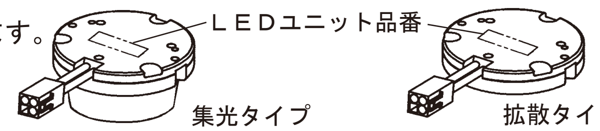
5 セードを操作し照射方向を調整する

可動範囲



ＬＥＤユニットの交換について　光源に不具合が発生しても、ＬＥＤユニットだけを交換できます

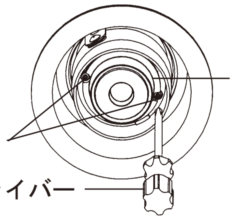
●ＬＥＤユニットの品番は、ＬＥＤユニットの背面に表示しています。
●交換用のＬＥＤユニットは、販売店、工事店にご依頼ください。



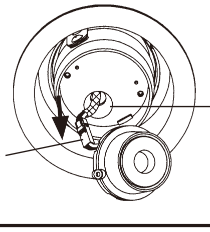
交換方法　**注）交換作業前に、必ず電源を切ってください。**

1 ＬＥＤユニットを取り外す

①プラスドライバーでＬＥＤユニットを固定しているネジ（２本）を外す。



②貫通穴からコネクタを引き出す。

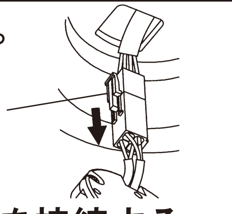


⚠注意

器具配線やコネクタを過度な力で引っ張らない（禁止）
充電部露出による感電の原因となることがあります。

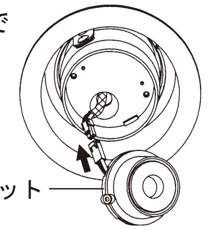
2 コネクタの接続を解除する

・コネクタのロック部を押さえながら接続を解除する。



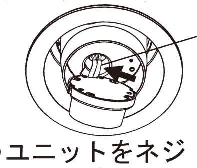
3 交換用ＬＥＤユニットを接続する

①コネクタを”カチッ”と音がするまで差し込む。

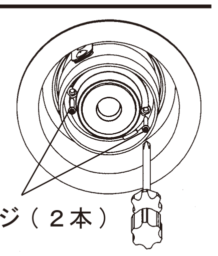


4 交換用ＬＥＤユニットを取り付ける

①コネクタとリード線を貫通穴につけ根まで完全に入れる。



②ＬＥＤユニットをネジ（２本）でしっかりと固定する。



ご使用上に関するお知らせ　故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】
●ＬＥＤや電源のバラツキにより、商品ごとに明るさや光色が異なる場合があります。（特に調光下限）
●調光点灯時に電源を入切した場合、一瞬フル点灯する場合があります。
●ＬＥＤが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

【 周 囲 の 影 響 】
●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

お手入れについて　安全のため、電源を切ってから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（６ヵ月に１回程度）に清掃してください。
●汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認　シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕 様　品番は器具のラベルをご参照ください

品番	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	ＬＥＤユニット
LGB72224LV1	AC100V	50/60Hz 共用	8.0W	0.09A	拡散タイプ
LGB72273LV1					集光タイプ

●ＬＥＤ照明器具の光源寿命は、40,000 時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の 70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

パナソニック株式会社　ライティング機器ビジネスユニット
〒 571-8686 大阪府門真市門真 1048

© Panasonic Corporation 2013

LGB72224LV1-T3A1
N0413-011213

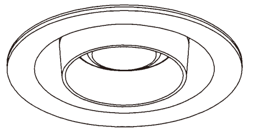
Panasonic®

取扱説明書

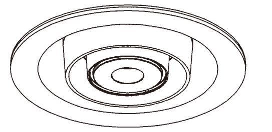
住宅用照明器具（ダウンライト）

保管用
施工説明付き

品番　LGB72224LV1



LGB72273LV1



お客様へ　このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

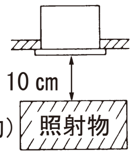
■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（下記は図記号の一例です。）

🚫	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

（必ず守る）
●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように注意する
守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。



（分解禁止）
●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

（禁止）
●アルカリ系洗剤は使用しない
強度低下により破損し、落下するおそれがあります。

⚠注意

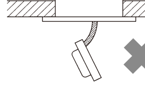
（必ず守る）
●照明器具には寿命があります。設置して 10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
◎１年に１回は別紙安全チェックシートに基づき自主点検してください。

●お手入れの際は電源を切る
通電状態で行うと、感電の原因となることがあります。

●器具の取り外しは販売店、工事店に依頼する
器具の取り外しには資格が必要です。

（禁止）
●温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●ＬＥＤを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

●器具配線やコネクタを過度な力で引っ張らない
充電部露出による感電の原因となることがあります。

●ＬＥＤユニットがぶら下がった状態で使用しない
充電部露出による感電の原因となることがあります。